

社会参加が進んでいます。

精神障害のある方たち

▶ 精神障害って？

精神障害は、さまざまな精神疾患が原因となって起こります。

1. 統合失調症

脳の神経ネットワークの働きがなんらかの原因でうまく機能せず、さまざまな情報をまとめることができなくなり、思考や意欲・感情面などに障害がでる病気です。幻聴や妄想は薬物治療で比較的早く治まります。

2. 気分障害

文字どおり、気分が極端に沈んだり、ハイになったりする病気です。「うつ病」やうつと極端にハイな時を繰り返す「双極性感情障害（躁うつ病）」などがあります。

3. 神経症・ストレス関連性障害

種々の不安障害が含まれます。ストレスなどの外的な要因が症状を引き起こすと考えられています。パニック障害や強迫性障害、社交不安障害、心的外傷後ストレス障害（PTSD）などがあります。

4. てんかん

脳の一部の神経細胞が突然一時的に異常な電気発射を起こす、あるいは神経をつなぐコードから漏電して、けいれんなどの発作が生じる病気です。

5. 高次脳機能障害

交通事故や脳梗塞などで脳の一部が損傷することで起こる障害です。記憶障害や注意障害などがあります。

6. 発達障害

発達のアンバランスによって生活に支障がでる状態のことを言います。自閉症スペクトラム障害や注意欠如・多動性障害（ADHD）などがあり、他人とのコミュニケーションが苦手だったり、単純ミスが多かったりします。

▶ 精神疾患の患者は30人に1人

精神疾患の患者数は、平成26年に390万人強となっており、いわゆる4大疾患（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）それぞれの患者数よりも多く、30人に1人の割合になります。

【主な精神疾患の患者数】

（単位：千人）

	平成17年	平成26年	増加率
うつ病など	924	1,116	20.8%
統合失調症など	757	773	2.1%
不安障害など	585	724	23.8%

厚生労働省「患者調査」より

▶ 精神疾患は誰でもかかりうる病気です

身近な人を亡くしたり、仕事がうまくいかなかったり、失恋したり、ペットが死んでしまったり…。誰でも気分が沈みます。たいていの場合は、「しかたがない」「なんとかなる」と気持ちを立て直しますが、そういった心の働きがうまくいかず苦しんでいるうちに、精神疾患になることがあります。精神疾患は、特別な人がかかるものではなく、誰でもかかる可能性のある病気なのです。

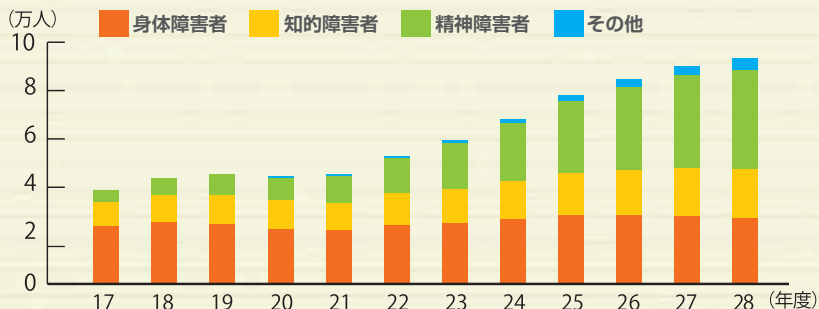
▶ 精神障害者保健福祉手帳って？

なんらかの精神疾患により、長期にわたり日常生活または社会生活への制約がある方を対象に交付されます。障害の程度の重いⅠ級からⅢ級まであり、障害等級の判定に当たっては、精神疾患（機能障害）の状態とそれに伴う生活能力障害の状態の両面から総合的に判定が行われます。手帳の有効期限は2年で、更新する場合には手続きが必要です。全国で期間有効の手帳は約86万件交付されています（平成29年版厚生労働白書）。

▶ 増加する精神障害者の雇用

障害のある方の就労意欲は近年急速に高まっています。ハローワークを通じた障害者の職業紹介状況を見ると就職件数は大きく伸びており、なかでも精神障害者の就職件数は、平成17年度に比べ8.9倍と大幅に増加しています。

【ハローワークにおける障害者の職業紹介状況（全国）】



▶ 精神障害者の雇用の義務化って？

障害者雇用促進法において、雇用する労働者数に応じて障害のある方を雇用することが義務づけられています。平成30年度からは、この法定雇用率の算定基礎に精神障害者も加えられます。

$$\text{法定雇用率} = \frac{\text{身体障害者、知的障害者及び精神障害者である常用労働者の数} + \text{失業している身体障害者、知的障害者及び精神障害者の数}}{\text{常用労働者数} - \text{除外率相当労働者数} + \text{失業者数}}$$